

## 浜田自動車道・江津道路の速度抑制対策の結果

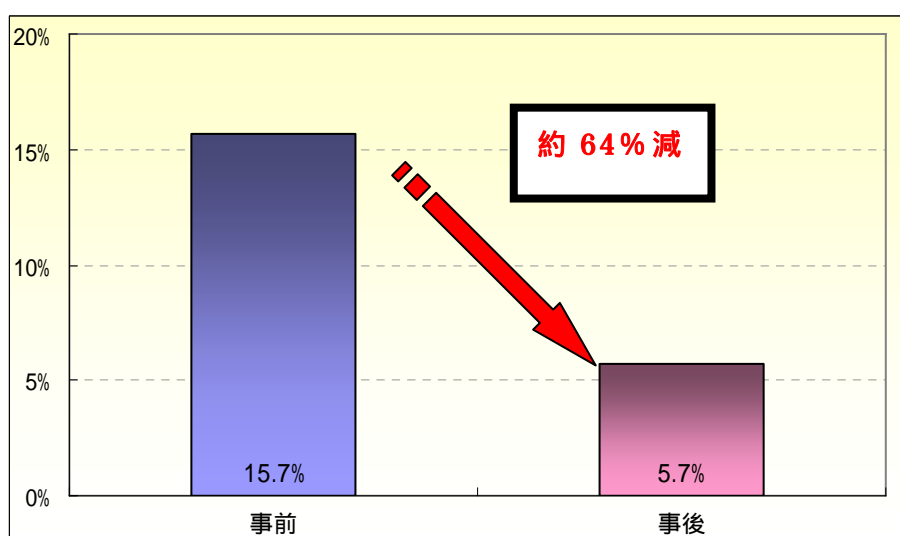
検証期間 開始前：平成 21 年 2 月 24 日～平成 21 年 3 月 23 日(28 日間)

開始後：平成 21 年 3 月 25 日～平成 21 年 4 月 21 日(28 日間)

**対策前後での ETC レーンへの高速進入車両が約 64% 減少しました。  
又、速度低下に伴い、開閉バーの接触率も約 19% 減少しました。**

### 1. 高速車両(40km/h 以上)の推移

浜田自動車道及び江津道路の 7 料金所で車両検知器の反応時間を約 0.5 秒から約 1.0 秒に遅延した結果、速度 40km/h 以上の車両割合が 15.7% から 5.7% に約 64% 減少しました。



### 2. 開閉バーへの接触件数の推移

開閉バー接触発生率が 0.0248% から 0.0200% に約 19% 減少しました。

(開閉バー接触発生率 = 接触件数 ÷ 利用総台数)

(注) 接触件数は、事故件数ではありません。

